

運営委員からのメッセージ



●運営委員 座長 河村 規子

皆さん、1年間お疲れ様でした。

今年度も、それぞれの塾が熱心に活動を続けてこられ、素晴らしい成果を見せていただきました。どの活動も長崎への愛情があふれ、「このまちをもっとよくしたい！」という思いが伝わってきました。

伝習所は市民と行政の協働によるまちづくりの拠点であり、入り口でもあります。この1年の経験をこれからの魅力ある長崎創りの原動力につなげていただければ幸いです。



●運営委員 阿部 美和子

各塾のテーマのもとに動ける人を作る。つながりを作る。伝習所の目的を個性豊かに作り上げた塾生の皆さん本当にお疲れ様でした。

そして皆さんの「思い」や「好き」の発信こそが、まちの魅力の最大の強みになることを改めて感じさせてくれた一年間でした。

塾活動を卒業してもそれぞれのペースでまちというステージを楽しみ進化していく皆さんの姿が浮かびます。

これからも動くことを楽しむ人でいてください！



●運営委員 長瀬 圭将

皆様、1年間の塾活動お疲れ様でした。

初めて運営委員という立場で長崎伝習所に関わらせていただきましたが皆様の「好き」「楽しい」という思いを行動にし、素晴らしい成果として形にしていく様子を間近で見ることができたことを大変ありがたく思います。このエネルギーは間違いなく長崎のこれからを変えていく・作っていく基となると思っております。皆様の活動の継続と益々の発展を心より願っております。



●運営委員 森 恭佑

市民活動は、好きなこと・ワクワクすることがテーマとなって始まります。時には、使命感に突き動かされてスタートしたものもあるでしょう。そんなパッションが大事であることはもちろんですが、これが「趣味」ではなく「市民活動」であるためには、「歩み寄り」が必要なのだと感じる一年でした。自分と社会との接点がどこにあるのか。長崎伝習所の塾の数だけ、その答えがあるのかもしれませんが。迷える人ほど、ぜひ塾に関わってみてください。



●運営委員 渡邊 暁生

歴史に彩られた長崎で、街が秘める可能性の中から、独自の視点をもとに原石を拾い上げ、磨き続けた塾長さん、塾生の皆さん、活動お疲れさまでした。

ともすれば見過ごしそうな街の当たり前を、輝く宝石に変える皆さんの発想とパワーこそが、長崎の未来を明るく照らすと確信しています。

塾で培った経験と人脈で、長崎から一層の情報発信を続けてくださることを切に願います。